

精神看護学概論

ナンバリング:N2-S1-I01

責任者・コーディネーター	地域包括ケア講座 遠藤 太 教授		
担当講座・学科(分野)	地域包括ケア講座		
対象学年	2	区分/単位数	講義/1単位
期間	前期		

・学修方針(講義概要等)

精神的な健康の問題を抱えている人を、ただ精神障害者と規定せずに、その人に固有な生活の文脈から理解する。看護師は自らをケアの提供者として最大限に生かしながら、患者と家族にかかわることを学修する。患者と家族の生活史や家族背景、地域の文化や環境が与える要因を把握し、患者の言動の持つ意味を多面的に理解する。その理解のために人格の発達と病理、精神と身体、家族、集団および社会のダイナミクスについて学ぶ。

・教育成果(アウトカム)

・精神の健康と障害に関する理解の深化: ストレス理論、危機理論、精神力動理論、漸進的発達理論を含む様々な理論を用いて、精神の健康とその障害についての理解を深める。これには心の機能、人格の発達、及び精神疾患の特徴と症状の理解が含まれる。
 ・リハビリと支援の理解: 精神障害の生きにくさを認識しつつ、リハビリ過程におけるレジリエンスやストレスの重要性を理解し、「その人らしく生きる」ことへの支援の必要性を学ぶ。これには精神障害者の生活支援方法の理解と応用が含まれる。
 ・精神保健医療福祉に関連する法律、社会制度の理解: 精神保健医療福祉に関連する法律、社会制度、歴史の変遷を学び、精神障害者の権利擁護と精神保健福祉に携わる者の倫理観について深く理解する。これには精神障害の社会的、文化的側面と公衆衛生の観点からの理解が含まれる。

【学位授与方針と当該授業科目との関連】

本科目は、本学部の以下のディプロマ・ポリシーに関連する。

2	生命の尊厳と人間としての基本的権利を擁護し、人々の苦痛や苦悩を共感的に理解できる。
3	看護の専門職性及び看護の発展に貢献できる基礎的能力を持つ。
4	看護職者として、さまざまな健康上の課題に気づき、課題に応じて、創造的に看護を実践できる基本的な知識と技術を身につける。

・到達目標(SBO)

1. 精神看護学の理解と説明: 精神看護学の基本概念と目的を説明できる。
2. 心のはたらきと人格の形成の理解: 心の機能や人格の発達についての知識を深め、これらを説明できる。
3. 精神保健の考え方の理解: 精神の健康と障害に関する基本概念とストレスやトラウマの影響を理解し、それらを説明できる。
4. 人間関係のシステムの理解: 人間関係のダイナミクスを理解し、家族や集団における関係性の影響を具体的に説明できる。
5. 精神疾患の理解: 精神疾患の症状や状態像を理解し、それらを具体的に説明できる。
6. 精神科治療の理解: 精神療法、薬物療法、電気けいれん療法、作業療法などの精神科治療法について、その目的、適応、特徴を理解し、具体的に説明できる。
7. 精神障害をめぐる歴史的・社会的・文化的背景および法制度の目的と内容を理解し、これらが精神障害の捉え方や、当事者の権利保護および生活の質にどのような影響を与えているかを具体的に説明できる。

・授業日程

【講義】

会場: 西1-B講義室

月日 曜日 時限	授業内容/到達目標	担当教員
4/8 水 3限	<p>【授業内容】精神看護学の導入 ・日本の精神医療の現状と課題を踏まえ、精神看護の学びが自分自身の価値観を問い直すことから始まることを理解する</p> <p>【関連するSBO】1 【事前学修:60分】「精神疾患のある人」と聞いて、 ①最初に浮かぶイメージ ②不安・怖さ・距離感があればその理由 を200字程度で書く(WebClassで提出)</p> <p>【事後学修:60分】授業で学んだ内容を踏まえ、 「なぜ日本の精神医療は、病床数が多く、在院日数が長くなりやすいのか」について、 ①制度 ②経済 ③文化・社会のうち、少なくとも2つの視点を用いて300字程度で説明する (WebClassで提出)</p>	地域包括ケア講座 遠藤 太 教授

5/8 金 2限	<p>【授業内容】社会のなかの精神障害</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精神障害を個人の問題としてではなく、歴史的・法制度的・文化的文脈の中で捉え、それらが当事者の生活、回復プロセス、社会での位置づけにどのような影響を与えてきたのかを説明できるようになる。 <p>【関連するSBO】7</p> <p>【事前学修：60分】精神障害があることで、医療以外の場面(学校・仕事・地域・家族のいずれか一つ)でどのような困難が生じると考えられるかを300字程度で記述する(WebClassで提出)</p> <p>【事後学修：60分】社会の偏見や制度の制約がある中で、精神科看護師はどのような役割を担えると思うか。</p> <p>授業内容を踏まえて、自分の考えを300字程度で記述する(WebClassで提出)</p>	地域包括ケア講座 高崎 邦子 講師
5/19 火 2限	<p>【授業内容】心のはたらきと人格の形成</p> <ul style="list-style-type: none"> ・こころのはたらきや人格の発達が多層的・力動的に成り立っていることを理解し、人の行動や症状を「問題行動」としてではなく、自己を守ろうとするこころの働きや発達課題の表れとして捉え、看護の視点で説明できるようになる <p>【関連するSBO】2</p> <p>【事前学修：60分】最近または過去に、「あとから考えると、なぜあんな行動や言動をしたのだろう」と思った経験を1つ挙げ、そのときの気持ちや状況を簡単(150字程度)に書く(WebClassで提出)</p> <p>【事後学修：60分】授業で扱った事例(70代男性)について、「防衛機制」の考え方をういて、この患者の言動が「こころを守るための反応」としてどのように理解できるかを考えなさい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・考えられる防衛機制を1つ以上挙げる ・なぜその防衛機制だと考えたのかを含め、300字程度で記述しなさい(WebClassで提出) 	地域包括ケア講座 遠藤 太 教授
6/1 月 4限	<p>【授業内容】精神保健の考え方</p> <ul style="list-style-type: none"> ・精神の健康と障害を二元論的に捉えるのではなく連続体として理解し、ストレスやトラウマが心身に及ぼす影響を説明できるとともに、人が揺らぎながらも回復していく存在であることを理解できるようになる。 <p>【関連するSBO】3</p> <p>【事前学修：30分】あなたにとって「精神的に健康な状態」とは、どのような状態だと思いますか。</p> <p>行動・気分・人との関係など、思いつく視点を200字程度で記述する(WebClassで提出)</p> <p>【事後学修：60分】ストレスやトラウマが、人の考え方・感情・行動・身体にどのような影響を与えるかを授業内容をもとに具体的に300字程度で記述する(WebClassで提出)</p>	地域包括ケア講座 熊地 美枝 准教授
6/4 木 4限	<p>【授業内容】関係のなかの人間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人の感情や行動が家族や集団という「場」の力学(グループダイナミクス)によって影響を受けていることを理解し、集団内の役割・規範・相互作用が心の状態や行動に及ぼす影響を、精神看護の視点から説明できるようになる。 <p>【関連するSBO】4</p> <p>【事前学修：60分】家族、クラス、友人グループなどの中で、あなたはどのような役割を担っていると思いますか(例：まとめ役、空気を読む人など)あなたはその集団でなぜそのような役割を担うことになったのか(集団の雰囲気など)を200字程度で記述する(WebClassで提出)</p> <p>【事後学修：60分】ダブルバインド的な家族関係の中で苦しんでいる患者に対して、精神科看護師は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・患者の気持ちをどのように受け止める存在であるべきか ・家族とどのような距離感で関わるのが大切だと思うか <p>に触れながら、「関係の構造を踏まえた看護師の役割」についてあなたの考えを300字程度で記述する(WebClassで提出)</p>	地域包括ケア講座 熊地 美枝 准教授
6/12 金 2限	<p>【授業内容】精神科疾患のあらわれ方 ①「思考・感情・意欲の障害」</p> <ul style="list-style-type: none"> ・思考・感情・意欲の障害を「異常な症状」としてではなく、その人が置かれている状況や苦痛への反応として理解し、症状の背景を踏まえた“評価しない看護の関わり”を説明できるようになる <p>【関連するSBO】5</p> <p>【事前学修：60分】「重大な事件」を起こした人が「精神科受診歴がある」「精神障害を持っている」あるいは「おかしな供述を始めた」ことを知った時、自分はどんな気持ちになるか、その理由を300～400字程度で書く(WebClassで提出)</p> <p>【事後学修：60分】思考障害・感情障害・意欲障害症状をもつ患者に対して、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・避けたい関わり ・大切にしたい関わり <p>をそれぞれ具体的に(200字程度)に書く(WebClassで提出)</p>	地域包括ケア講座 遠藤 太 教授

6/16 火 2限	<p>【授業内容】精神科疾患のあらわれ方 ②「知覚・意識・記憶の障害」 ・知覚・意識・記憶の障害によって生じる世界の変化を理解し、本人にとっての現実を尊重しながら、安全と安心を最優先にした精神看護の基本的対応を説明できるようになる</p> <p>【関連するSBO】5 【事前学修:30分】混乱している人に対して、「落ち着かせるために言いたくなる言葉」を1つ挙げ、それが本当に安心につながるか考え300字程度で記述する(WebClassで提出) 【事後学修:60分】授業で紹介して事例に対して「看護師としてどのように対話し、対応するか、300字程度で具体的に記述する(WebClassで提出)</p>	地域包括ケア講座 遠藤 太 教授
6/25 木 3限	<p>【授業内容】精神科での治療 ・精神科治療を単なる技法や薬の選択としてではなく、患者の不安や恐怖を伴う体験として捉え、治療の種類にかかわらず「安心と関係性を土台にする看護の役割」を説明できるようにする。</p> <p>【関連するSBO】6 【事前学修:60分】あなたが突然「精神科」へ入院させられ、治療が行われる場合、一番大切だと思うことは何か。その理由を含めて300字程度で記述する(WebClassで提出) 【事後学修:14時間:840分】授業で紹介した事例に対して、「看護師は、患者と医師の間でどのように対応することが望ましいか」を考え300字程度で記述する(60分:WebClassで提出)+授業で触れられなかった重要事項(13時間:780分:提出不要)</p>	地域包括ケア講座 遠藤 太 教授

・教科書・参考書等

教:教科書 参:参考書 推:推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
教	系統看護学講座 専門分野 精神看護学[1]精神看護の基礎 第6版	武井麻子 他	医学書院	2021
教	系統看護学講座 専門分野 精神看護学[2]精神看護の展開 第6版	武井麻子 他	医学書院	2021

・成績評価方法

【総括的評価】

定期試験(多肢選択)70%と提出課題(初回授業時にルーブリック評価表を提示する)30%の合計100%にて評価をする。

【形成的評価】

各授業において習得度チェック(国試問題等を使用した確認試験)を行い、学生の理解度を確認しながら授業を行う。

DP	SBO	小テスト	定期試験	課題	GW	実技	その他	合計
2・3	1・2・7		30	10				40
4	3~6		40	20				60
合計		0	70	30	0	0	0	100

〈備考〉

・特記事項・その他

【授業における試験やレポート等の課題に対するフィードバック】

・各授業の最後に行う習得度チェックについては、授業内に解答・解説を行う。
・リアクションペーパーは、次回の授業においてコメントをするなどしてフィードバックする。

【保健師助産師看護師学校養成所指定規則教育内容】

看護師(別表3): 専門分野 精神看護学

【その他】事前・事後学修は次授業前日正午までにWebClassに提出する(未提出は0点、時間を過ぎてからの提出は1/2減点)。

各回講義の中で、テーマに基づくディスカッション(グループワーク等)の機会を設け、またはICTの利用によるアンケートフォーム(CustomForm®)を通して、学生の理解度を確認しながら講義を進行する。

授業で触れられなかった重要事項は、各授業の終了時に伝達をする。

【実務家教員担当授業の有無、実務家教員の実務経験の内容及び授業との関連】

当該科目に関連する実務経験の有無 有

精神科における臨床経験を有する教員が、専門領域に関する実践的な教育を豊富な実践経験を交えて行う。

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	プロジェクター	1	講義用スライド投影
講義	スマートフォンまたはタブレット	1	Webアンケート